

きりとり線

討論会参加申込書

氏 名

住 所 🧵

ふりがな

(自宅・勤務先)

電話番号 ー ー (自宅・勤務先)

 FAX番号
 (自宅・勤務先)

メールアドレス

所 属 (団体名・学校・勤務先など)

講演者に話してほしいことがあれば記入してください

参加申込案内

オンライン参加・会場参加のいずれかでお申し込みください。

オンラインの会議システムはJitsi Meetを使用する予定ですが、別途参加申込み者に連絡します。

※オンライン参加をご希望の方

●お申込みはメールでお願いします。

件 名:オンライン参加希望

本 文:左の申込書の項目を入力

メールアドレスの項目には、当日受信を希望するアドレスを書いてください。(送信したメールと同様の場合は不要です)

送信先: tama.recvcle@gmail.com

開催日3日前までに参加者用URL等をメールします。 届かない場合は事務局までご連絡ください。

※会場参加をご希望の方

●FAXまたは郵送

左の申込書に必要事項を記入し送信または郵送

●メール: 件名を「会場参加希望」とし、本文に左の 申込書の項目を入力(送信先はオンライン 参加と同様)

◆注意

参加票を郵送します。**参加票のない方は入場できません**。 開催時の社会状況により、会場参加ができなくなる場合があり ます。その場合は2月20日までにホームページでお知らせすると 同時に、申込者に対して連絡します。

※共通事項

●申込期間:2022年1月5日(水)~2月25日(金)

●**定 員:**100名 (オンライン50人程度 会場50人 程度の予定)

お問合せ

第29回 TAMAとことん討論会実行委員会事務局特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦事務局内

電話: 070-3340-7006 FAX: 042-400-0096

メール: tama.recycle@gmail.com お問合せはできるだけメールでお願いします

リサイクル適性 A



開催にあたって

今回のTAMAとことん討論会は「買い物」をキ ーワードに開催します。「買い物」はリデュースの 事例として扱われることが多い行動の一つです。

マイバッグを持っていこう、ばら売り商品を買 おう、再生品を選ぼうなどといったことについて はこれまで何度となく議論を重ねてきました。

そこで、今回は消費者である市民に向けて、商品 を供給する側(作り手や売り手)の情報を提供し、 買い物という日常的な行動からごみ問題を考えて みたいと思います。

また、多摩地域市町村に対しては、大口消費者 としての行政の取組、「買い物」を通した啓発事例 などについて調査し、私たちの暮らす多摩地域の 実態をまとめて報告します。

私たちはものを買わずには生活できません。「買 う ことにもっともっとこだわりを持ち、買った ものを無駄にしない暮らし方を考えてみましょう。

※作文募集は2月15日必着です。詳細はホームページ (http://renpou.org) をごらんください。

第29回 TAMAとことん討論会実行委員会 実行委員長 小 石

引386.45米图/家

(特定非営利活動法人 東京・多摩リサイクル市民連邦代表理事)

プログラム

- 12時30分 開会のあいさつ
 - ●作文優秀賞発表

実行委員長 小石 惠子

一考察 作文および調査結果

江尻 京子

(特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦事務局長)

- ●基調講演「グリーン購入とごみ減量」 深津 学治
 - (グリーン購入ネットワーク事務局長)
- ●講演 1 「エコショップ認定制度について】 薄井 誠嗣

(多摩市環境部ごみ対策課長)

- ●講演2「素材と対話するモノづくり」 吉田守孝 (ヨシタ手工業デザイン室)
- ●講演3「食の作り手からのメッセージ」 伊藤 正樹 (とうふや「おもむろ」)
- ●まとめとディスカッション コーディネーター 川本 耕平 株式会社ダイナックス都市環境研究所会長` 特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦会員

17時

●閉会のあいさつ



Kind and the second

郵便ハガキ

2 0 6 - 0 0 1 1

63円切手

を貼って

ください

多摩市関戸一 一一七グリービル六○二号

第29 回 T 特定非営利活動法人 Aとことん討論会実行委員会事務局 多摩リ 市民連邦事務局